

個別物質全項目表示(1/1)

[データの取扱いについて](#)神奈川県環境科学センター
環境情報部

全項目表示

項目	内容
物質名	酢酸ブチル
日本語名	サクサンブチル サクサン-n-ブチル サクサンノルマルブチル サクブチ ブチルアセテート
英語名	BUTYLACETATE ACETICACIDBUTYLESTER ACETICBUTYLESTER BUTYLETHANOATE
示性式 分子式	CH ₃ COOC ₄ H ₉ C ₆ H ₁₂ O ₂
各種コード番号	CAS番号:123-86-4 RTECS番号:AF7350000 既存化学物質番号:2-731
骨格	直鎖炭素鎖(飽和)
官能基	カルボン酸エステル
用途	顔料, 塗料 溶剤, 洗剤 医薬, 医薬中間体 果実エッセンス, 抽出剤, 溶媒
取扱量(トン)	調査年 対象地域 取扱量 1995年 神奈川県 3604.63 1995年 横浜市 376.49 1995年 川崎市 35.65
外観的特徴	外観 無色透明液体 臭気 果実よりの香気
物理的性状	分子量 116.16 比重 0.882 ~0.8825 比重測定温度(°C) 20 ~20 蒸気密度 4 溶解度 微溶 融点(°C) -77.9 沸点(°C) 120 ~126.5
燃焼・爆発特性	燃焼性 室温で引火し易い。低所で滞留爆発性混合ガスをつくりやすい。 爆発範囲(%) 1.7 ~7.6 引火点(°C) 22 ~31
生化学的性状	LogPOW 1.78
	大気汚染防止法 有害大気汚染物質 労働安全衛生法[名称等表示] 表示対象物質

法規制	労働安全衛生法〔名称等表示〕 名称等を通知すべき有害物 労働安全衛生法〔特化物等〕 第2種有機溶剤 消防法〔危険物〕 危険物第4類 海洋汚染防止法 C類物質等				
条例・要綱及び指針	旧神奈川県化学物質環境安全管理指針(参考)		対象物質		
	旧神奈川県先端技術産業立地環境対策指針(毒性係数分類)		D類物質(旧)		
	旧横浜市化学物質適正管理指針		管理物質		
許容濃度	ACGIH	TWA(ppm) 150			
		STEL(ppm) 200			
	日本産業衛生学会	許容濃度(ppm) 100			
		許容濃度(mg/m ³) 475			
急性毒性	対象動物種	投与経路	試験時間	毒性数値種類	毒性数値
	ラット	経気道	4 時間	LC50	2000 ppm
	マウス	経口		LD50	7060 mg/kg
	マウス	経口		LD50	7100 mg/kg
	マウス	腹腔内注射		LD50	1230 mg/kg
	マウス	経気道	2 時間	LC50	6 g/m ³
	ウサギ	経口		LD50	7400 mg/kg
	モルモット	経口		LDLo	4700 mg/kg
	モルモット	経気道	4 時間	LCLo	67 g/m ³
	ネコ	経気道	72 分	LCLo	68 g/m ³
	ラット	経口		LD50	13100 mg/kg
毒性症状	蒸気は目、鼻、のどを刺激する。角膜表面を侵すことがある。蒸気を吸入すると麻酔作用があり、高濃度では意識喪失する。液にくり返し接触すると皮膚が侵され、ひび割れなどを起こす。結膜炎になりやすい。動物実験では催奇性あり。				
発ガン性	評価機関	評価内容			
	ACGIH	発癌性評価 A4[ヒトに対する発がん性の評価ができない物質]			
測定データ	濃度	調査年	調査対象	調査地域	測定地点
	80-1300ng/m ³	1995	大気	一般環境	神奈川県内
事件事例					
事故の名称	地下タンクより溶剤取り出し中の火災発生				
発生日	1991/05/01				
時刻	15:41:00				
被害額(万円)	100 万円				
負傷者数	1 人				
事故の概要	地下タンク貯蔵所より配管を延長し、製造所内に溶剤取り出し口を設け、取り出し口より移動タンクに酢酸エチル60kgを取り出し、次いで酢酸ブチル170kgを取り出し、バルブを徐々に閉めている時火災となった。				
事故の原因	溶剤取り出し中に移動タンクにアースを取らずに作業した。				
発生場所	兵庫県				
取り扱い上の注意	鋼, ステンレス鋼, アルミニウムは, 容器として耐久性がある。				
取扱い保護具	【皮膚】保護手袋、保護衣、安全シャワー 【吸入】局所排気または呼吸用保護具 【眼】安全ゴーグル、洗眼器				

事故時処理キーワード	避難を検討する 泡 防止堤で囲む
事故時処理概要	【危険地域内】機械を停止し、発火物を除去する。喫煙を禁止し、裸火を消す。火花を発生する電気器具類、開閉器を停止する。【火災】小規模火災では炭酸ガス。ドライケミカルは、これがタンク内に入る危険がある場合には勧められない。タンク外でなら使用可。大規模火災では、耐アルコール泡、水噴霧。タンクを冷却する。【漏洩】危険がない場合は漏洩部をふさぐ。【流水】飲料水、用水、冷却水の取水者の了解を求める。【停留水】周囲を遮断し発火源を取り除く。危険地域の乗物を移動させる。【陸上】防止堤で囲みポンプで汲みとる。低域空間をふさぐ。発火源を取り除く。残存物は不燃性で吸収性のある材料で覆い、密閉容器に入れ安全な集積場に廃棄する。
事故時保護具キーワード	火災または分解の場合のみ重装備の呼吸防護(激しく反応する)
事故時保護具概要	周辺空気と無関係の(重装備の)呼吸防護器具、全身防護服を着用する。多くの合成物質を腐食するので注意する。
救急応急処置キーワード	医師を呼ぶ 呼気吹き込み 水洗浄(身体) 酸素吸入 身体保温 人工呼吸 水洗浄(眼) 側臥位(意識喪失時)
救急応急処置概要	傷病者を新鮮な空気の所に移し安楽に待機させ、窮屈な衣服部分をゆるめる。呼吸停止の場合、呼気吹き込み、人工呼吸、酸素吸入。ぬれた衣服部分、靴、靴下を脱がせ、遠ざける。接触した身体部位を十分に水で洗浄する。眼に入った場合、水で10-15分間洗浄する。そのためまぶたを親指と人さし指で拵げ、同時に眼をあらゆる方向に動かす。医師を災害現場に呼ぶ。傷病者の身体を冷やさない。嘔吐の場合、頭部を横に向ける。意識喪失の危険がある場合、待機、搬送は安定な側臥位で行う。

(1/1)

国立環境研究所WebKis-Plusのデータを別画面で見る

[123-86-4](#)

国立医薬品食品衛生研究所ICSCのデータを別画面で見る

[酢酸n-ブチル](#)

化学物質リンクセンターのデータを別画面で見る。

リンクセンターに接続すると、データが存在するリンク先の一覧が表示されますので、リンク先をクリックしてください。

画面が表示されないときは、タスクバーを確認してください。

[検索メニューへ戻る](#)

[神奈川県環境科学センター](#)
環境情報部